

大原高等学校勝浦若潮キャンパス跡地
活用基本計画

平成28年6月

勝 浦 市

目 次

はじめに	1
(1) 目的	1
(2) 計画フロー	1
1 現状及び課題の整理	2
(1) 千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパスの現状	3
(2) 勝浦市の現状	8
(3) 上位関連計画	18
(4) 市民意向 勝浦市人口ビジョン 勝浦市将来展望に関するアンケート調査結果.....	24
2 跡地活用に向けた基本的な考え方の整理	26
3 整備方針の検討	28
4 施設規模の検討	33
5 基本計画図の作成	36
6 概算事業費及び整備手法の検討	37
7 管理・運営方法の検討	40
8 整備スケジュールの検討	41
9 整備に向けた課題の整理	42

はじめに

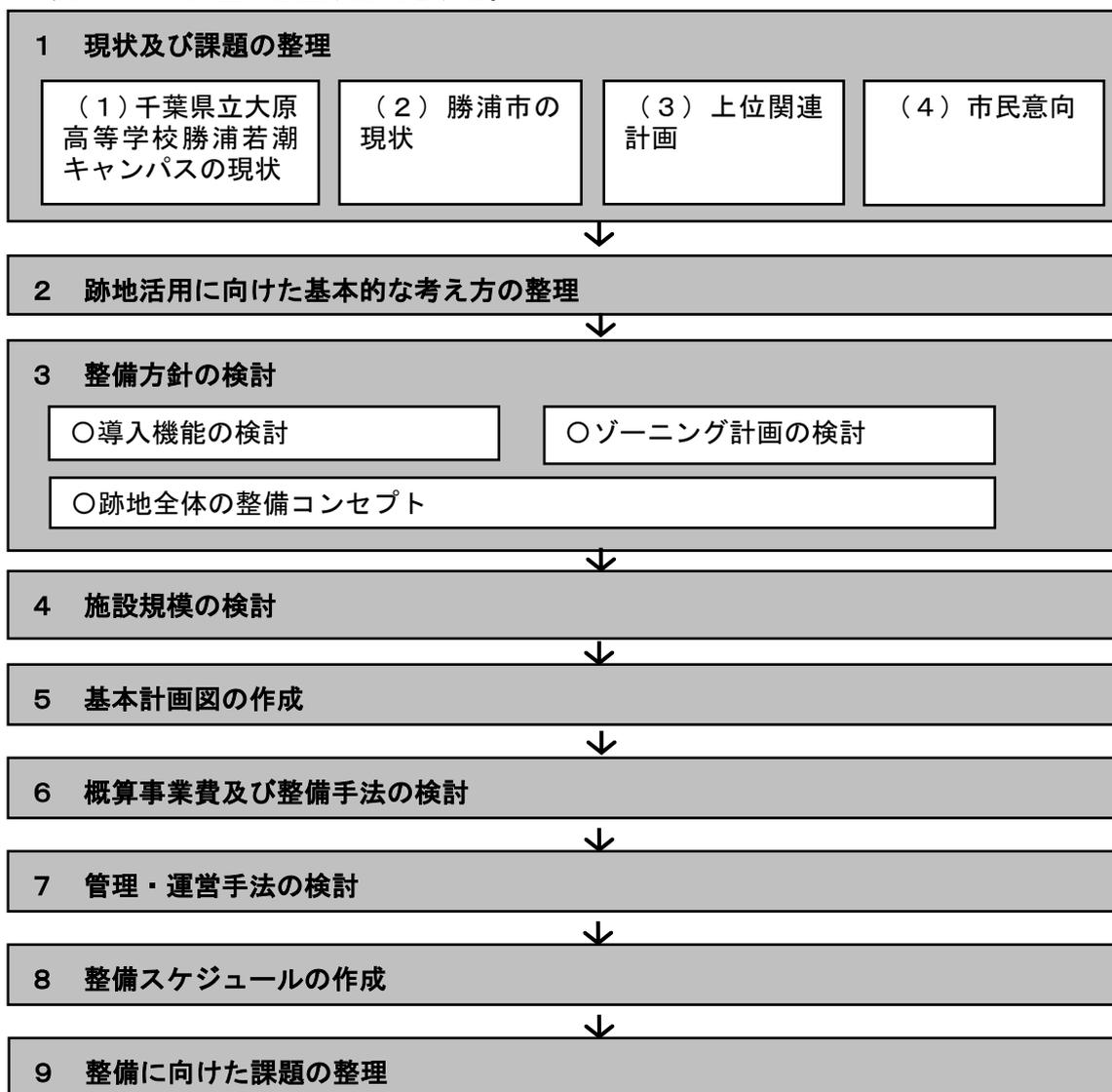
(1) 目的

千葉県立勝浦若潮高等学校は、県立学校改革推進プラン及び第1次実施プログラムに基づき、夷隅地域の中学校卒業生数の減少や学校の小規模化に対応するため、平成27年4月に大原高等学校・岬高等学校と統合された。平成27年4月からの本校舎は大原高等学校となっている。

平成29年3月に閉校を予定されている千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパス跡地（以下、跡地）は、約35,000㎡の敷地を有し、この広大な跡地を千葉県から購入し、活用することは勝浦市の振興を図る上で非常に重要であることから、跡地及び市の現状把握、上位関連計画での位置づけ、市民の意向など本市の将来に向けた課題解決の観点から跡地活用について検討し、基本計画とする。

(2) 計画フロー

次のフローに基づき基本計画とする。



1 現状及び課題の整理

現状及び課題は、下表の項目にわけて整理する。

	項目
(1) 千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパスの現状	①概要（沿革、施設概要、位置づけ）
	②学校施設の現地調査結果
(2) 勝浦市の現状	①人口・世帯数
	②産業
	③公共公益施設
	④法規制の状況（都市計画）
(3) 上位関連計画	①勝浦市総合計画
	②勝浦市都市計画マスタープラン
	③勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(4) 市民意向	①勝浦市人口ビジョン（勝浦市将来展望に関するアンケート調査結果）

(1) 千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパスの現状

①概要（沿革、施設概要、位置づけ）

千葉県立勝浦若潮高等学校は、明治34年の「勝浦水産補習学校」として設立されて以来、約110年もの歴史を誇る高等学校で、全国でも数少ない漁業科、水産科を要する高等学校として、漁業の発展、漁師の育成に大きな役割を担ってきた。

平成17年に御宿高等学校と統合し、総合学科となった後、平成20年から漁業水産科が廃止となっている。県立勝浦若潮高等学校は、漁港に根ざした水産高校として独自の個性と歴史を持つ高校であった。

平成24年に勝浦若潮、大原、岬の高等学校3校を平成27年4月に統合し、現大原高等学校の校舎を使用する新たな総合学科高校を設置すると発表し、現在、実習場（千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパス）として利用されている。

表 学校の変遷

	概要
明治34年（1901年）	勝浦水産補習学校を設立
明治35年（1902年）	勝浦実業補習学校と改称
昭和4年（1929年）	町立勝浦実科学校と改称
昭和10年（1935年）	千葉県勝浦実科学校と改称
昭和18年（1943年）	千葉県勝浦商業学校に改称
昭和19年（1944年）	千葉県勝浦工業学校に改称
昭和23年（1948年）	合併して千葉県町立勝浦高等学校となる
昭和25年（1950年）	合併して千葉県立夷隅高等学校となる
昭和41年（1966年）	千葉県立勝浦高等学校と改称
平成17年（2005年）	合併して千葉県立勝浦若潮高等学校となる
平成24年（2012年）	千葉県教育委員会から平成27年4月に勝浦若潮、大原、岬の高等学校3校を統合し、現大原高等学校の校舎を使用する新たな総合学科高校を設置すると発表。現在、実習場（千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパス）として利用されている。

出典：勝浦若潮高等学校ホームページより

校章



- ・ 波に松葉をあしらうと同時に、全体で「若潮」の「若」の文字をデザイン化している。下部の3本のラインは波打ち際を表している。
- ・ 2つの波（旧勝浦高等学校と旧御宿高等学校）が融合して大きな波となって新しい時代へ立ち向かっていこうという意識と、松葉をデザインすることで「白砂青松」の立地をイメージ構成している。

校舎の施設状況は、下表のとおりであり、築年数は昭和41年で約50年が経過している。
A棟（管理・特別教室棟）とB棟（普通・特別教室棟）は、耐震補強が実施されている。

表 千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパスの施設状況 一覧表

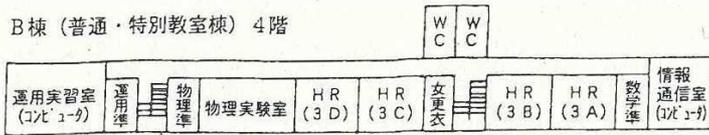
施設名称	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	耐震化
A棟(管理・特別教室棟)	RC造	3	2,717	S41年	済
B棟(普通・特別教室棟)	RC造	4	4,155	S41年	済
昇降口棟 ※A-B棟間	RC造	2	535	S41年	不明
C棟(特別教室棟)	RC造	3	847	S57年	-
D棟(小講堂・実習室)	S造	1	339	S42年	既存
食品製造実習室	S造	1	455	S42年	既存
体育館	RC+S造	2	1,569	S45年	済
セミナーハウス・卓球場	RC+S造	3	1,123	H3年	-
武道館	RC+S造	2	499	S47年	未
運動部部室	CB造	1	60	不明	不明
倉庫兼部室	CB造	2	120	S62年	-
(設備関連施設)					
受電室					
浄化槽					
ボイラー室	CB造	1	28		
ポンプ室	RC造	1	22		
ポンベ室					
(その他施設)					
小屋(受水槽付近)					
外部通路					
自転車置場					
プール					

※構造・階数・面積・築年数・耐震化状況は、受領資料より

※耐震化については、以下の表記にて記載する

「-」:新耐震基準時に新築、「済」:耐震補強済、「施工中」:耐震補強工事中、
「既存」:診断結果 $I_s > 0.6$ 、「未」:未実施、「不明」:詳細不明

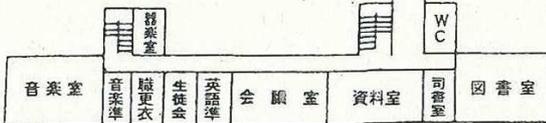
B棟（普通・特別教室棟）4階



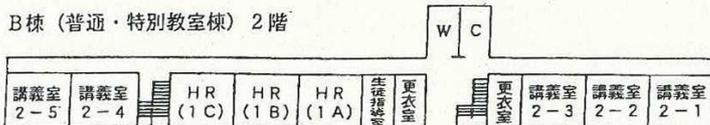
B棟（普通・特別教室棟）3階



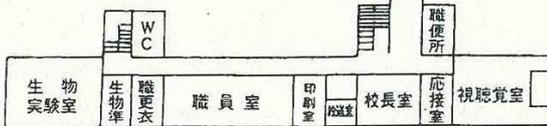
A棟（管理・特別教室棟）3階



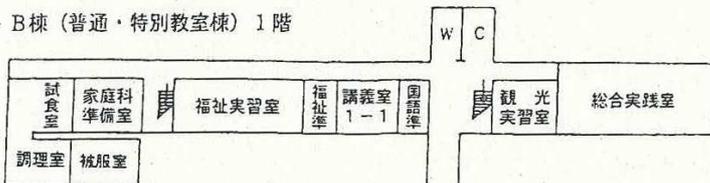
B棟（普通・特別教室棟）2階



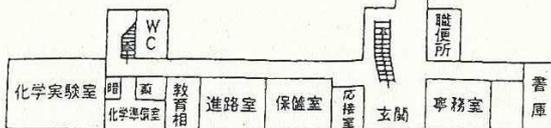
A棟（管理・特別教室棟）2階



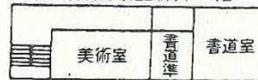
B棟（普通・特別教室棟）1階



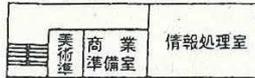
A棟（管理・特別教室棟）1階



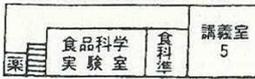
C棟（特別教室棟）3階



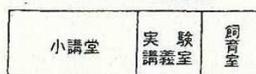
C棟（特別教室棟）2階



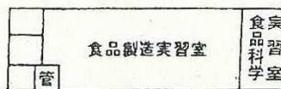
C棟（特別教室棟）1階



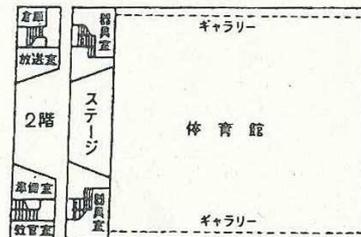
D棟（小講堂・実習室）



食品製造実習室

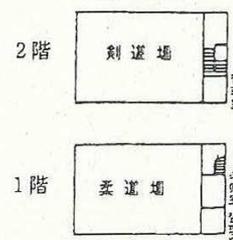


倉庫兼部室



セミナーハウス

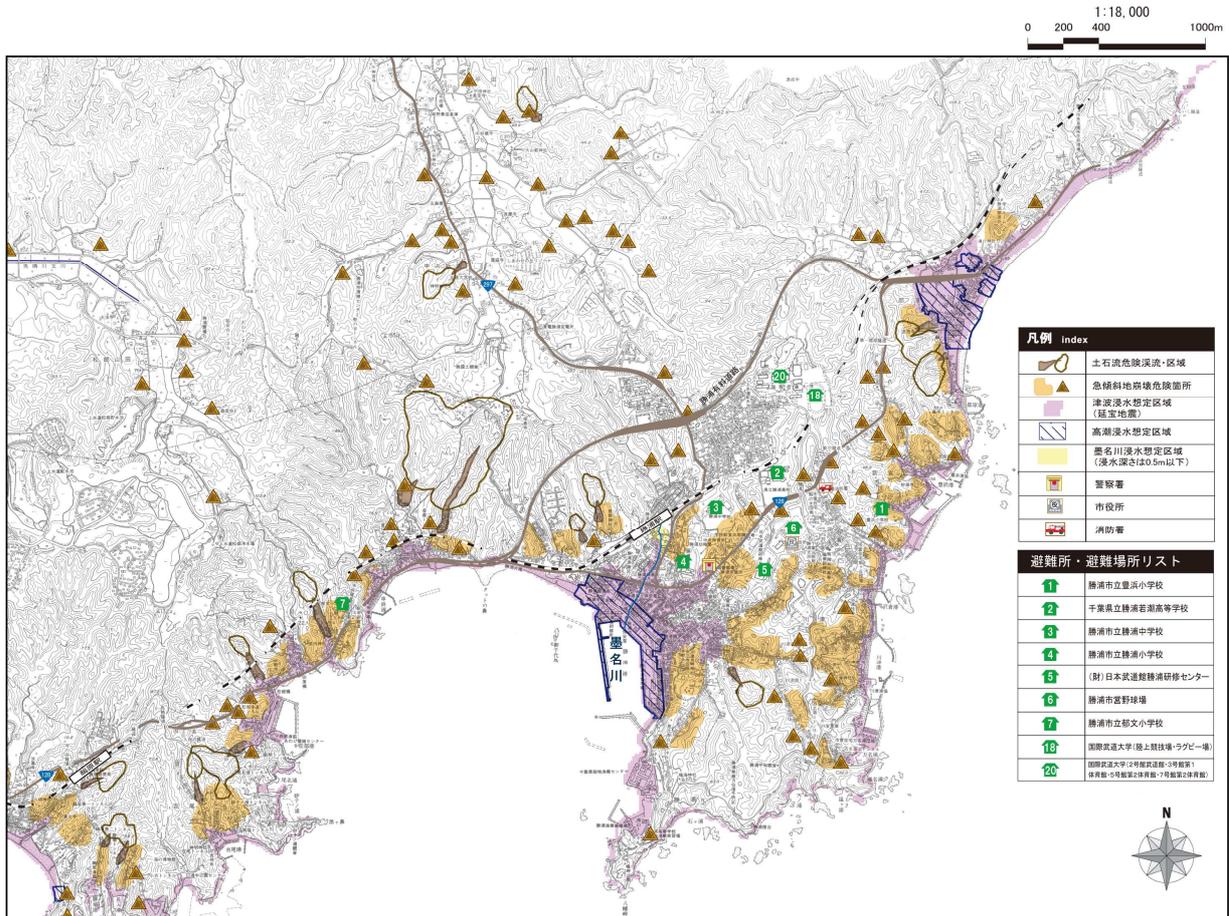
武道館



(学校要覧から)

また、勝浦若潮高校は、勝浦市防災マップにおいて、避難所・避難場所に位置づけられており、その機能は今後とも維持することが必要と考えられる。

勝浦市防災マップ



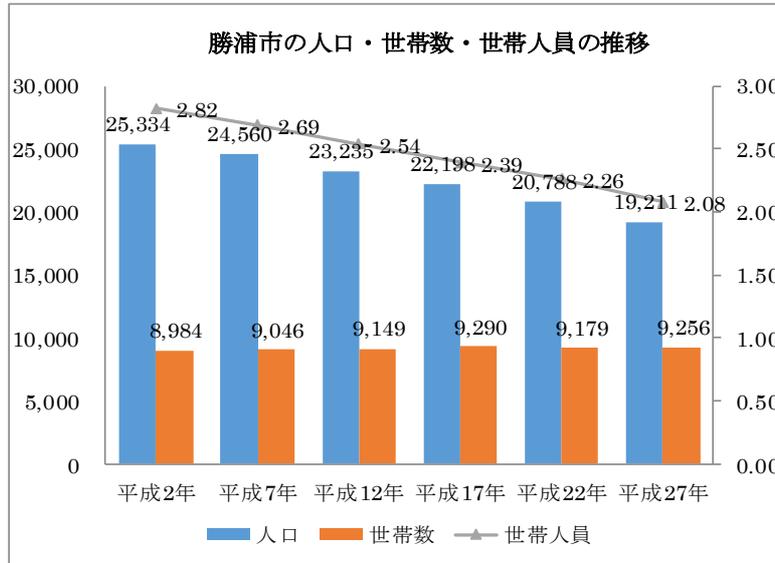
(2) 勝浦市の現状

①人口・世帯数

勝浦市の人口は、減少を続けており、平成27年10月1日の人口は19,211人となっており、世帯数も平成17年以降、減少傾向に転じている。

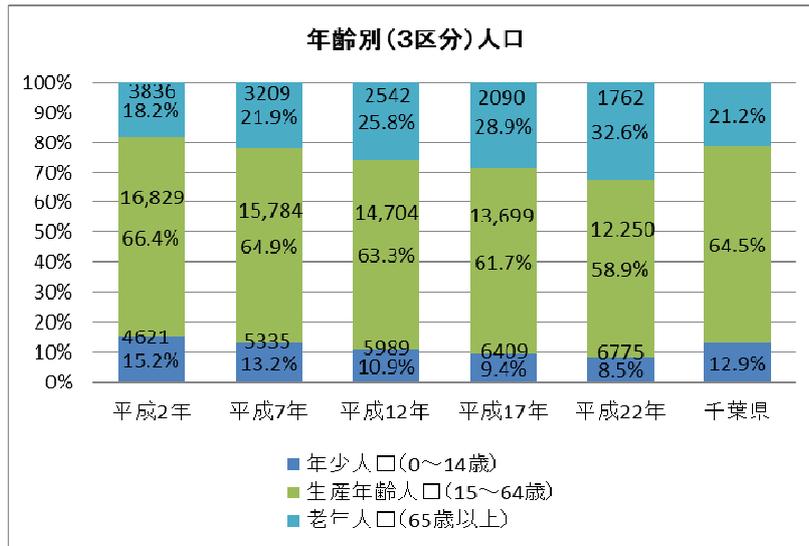
年齢別人口を見ると、老年人口の割合が平成22年時点で32.6%となっており、千葉県全体の21.2%より高い割合となっている。

表 人口・世帯数の推移



出典：平成2年～平成22年 国勢調査
平成27年 住民基本台帳

表 年齢別（3区分）人口



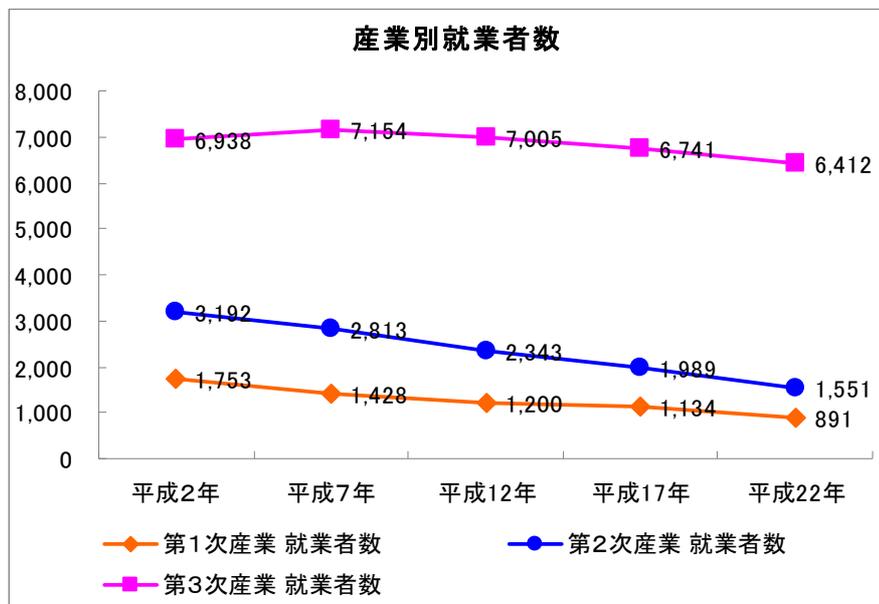
出典：国勢調査

②産業

産業別就業者数は、第1次、第2次、第3次ともに減少を続けている。

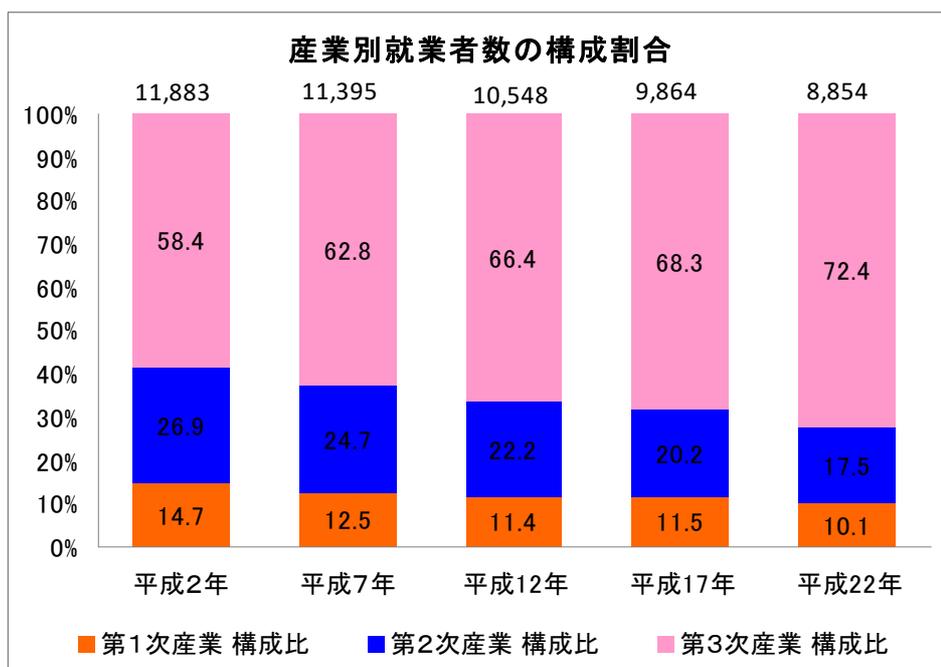
産業別就業者数の割合を見ると、平成22年時点で第3次産業が最も多く71.1%となっており、経年変化を見ると、第3次産業のみが増加傾向にある。

表 産業別就業者数



出典：国勢調査

表 産業別就業者数の構成比



農家数・農業従事者数を見ると、平成22年時点で、農家数が443、農業従事者数が1168人となっている。平成12年からの経年変化では、第1種兼業以外は減少傾向にある。

■ 農家数の推移 各年2月1日現在(単位:世帯・人)

年		平成10年	平成11年	平成12年	平成17年	平成22年	H22-H12
農家数	総計	1,008	206	755	566	443	-312
	専業	95	25	100	96	95	-5
	第1種兼業	50	26	34	37	58	24
	第2種兼業	863	155	621	433	290	-331
農家人口	総計	4,110	868	3,798	-	-	
	満14歳以下	587	117	484	-	-	
	満15歳以上	3,523	751	3,314	-	-	
農業従事者数	総計	2,432	543	2,330	1,487	1,168	-1,162
	男	1,369	311	1,298	834	653	-645
	女	1,063	232	1,032	653	515	-517

資料:企画課(農林業センサス・農業基本調査より)

商業を見ると、平成19年時点で、事業所数が364店、売場面積が15,379㎡、年間商品販売額が4,515,927万円となっている。平成9年からの経年変化では、事業所数、売場面積は減少しているが、年間商品販売額は増加傾向にある。商業地は、JR勝浦駅東側と興津地域の国道128号沿道に集積がみられる。

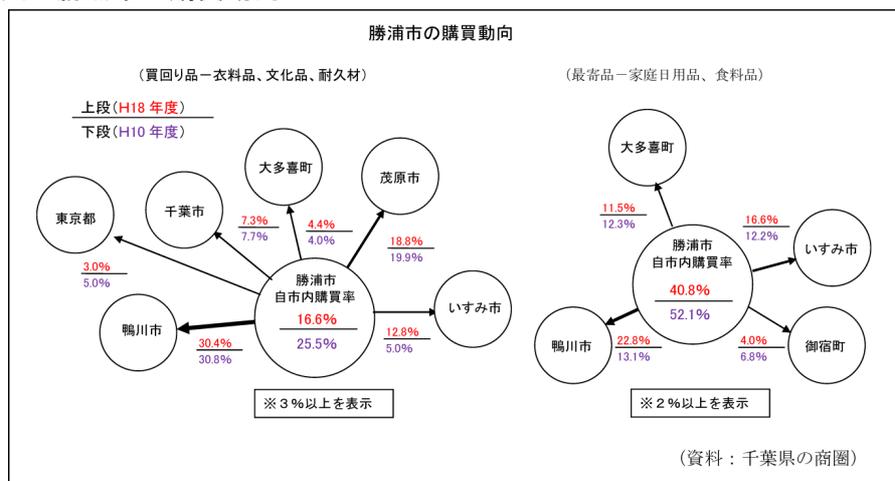
■ 商業の推移 (単位:店・㎡・人・万円)

年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	H19-H9
事業所数	429	426	400	384	364	-65
売場面積	16,176	16,445	18,202	17,580	15,379	-797
従業者数	1,580	1,704	1,794	1,656	1,634	54
年間商品販売額	3,648,216	3,956,094	4,105,355	4,151,542	4,515,927	867,711
商品手持額	269,355	-	211,802	-	288,180	18,825

資料:企画課(商業統計調査より)

また、勝浦市の購買動向として、自市内購買率を見ると、買回り品(衣料品、文化品、耐久材)が16.6%(平成18年度)で、最寄り品(家庭日用品、食料品)が40.8%(平成18年度)となっている買回り品は、鴨川市に依存していることが解る。

図 勝浦市の購買動向



出典:勝浦市都市計画マスタープラン

工業を見ると、平成 26 年時点で、事業所数が 22、従業員が 490 人、製造品出荷額が 1,508,810 万円となっている。平成 22 年からの経年変化では、事業所数、従業者数は減少しているが、製造品出荷額は増加傾向にある。

■ 工業の推移 各年2月1日現在(単位:事業所・人・万円)

区分 \ 年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	H26-H22
事業所数	29	28	24	23	22	-7
従業者数	566	484	449	535	490	-76
製造品出荷額等	1,289,316	1,996,511	2,013,765	1,348,645	1,508,810	219,494
従業者1人当たり出荷額等	2,278	4,125	4,485	2,520	3,079	801
現金給与総額	181,028	196,280	170,847	167,892	164,893	-16,135
生産額	1,284,395	1,967,136	1,132,386	1,347,196	1,506,112	221,717
年末在庫額	86,160	165,376	158,649	191,288	206,584	120,424

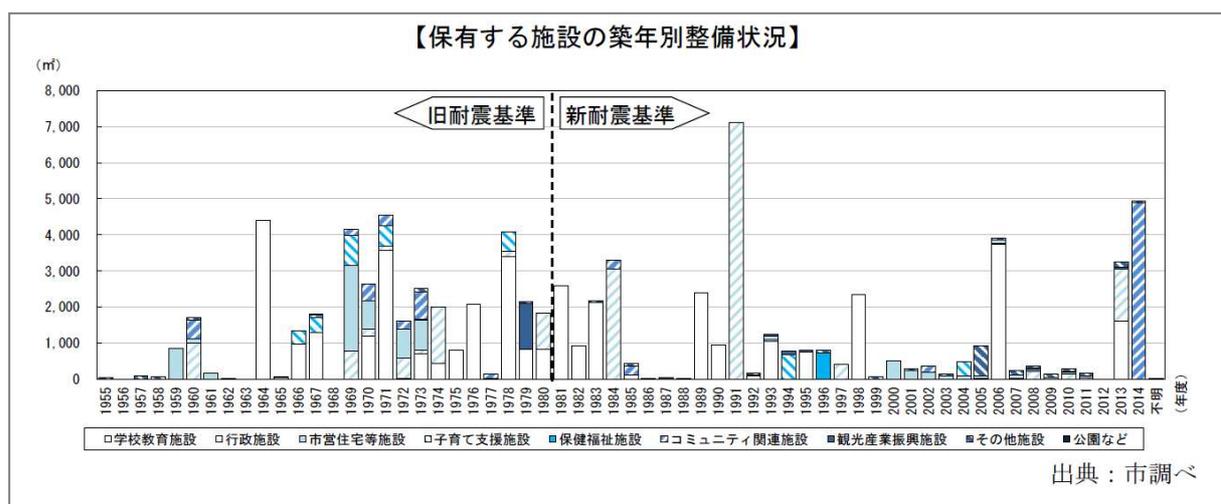
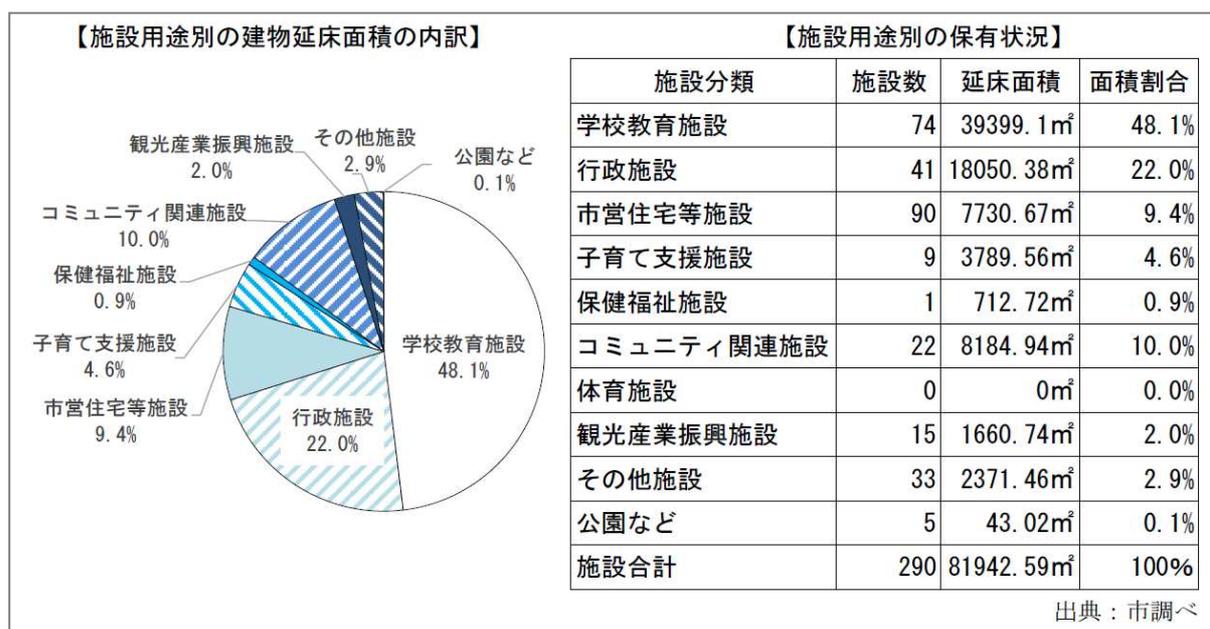
資料: 企画課(工業統計調査より)

③公共公益施設

公共公益施設の保有状況（勝浦市人口ビジョンより抜粋）は、次のとおりである。

勝浦市が保有する施設は、290 施設あり、延床面積約 81,942.59 m²である。施設用途別にみると、学校教育施設が 48.1%、行政施設が 22.0%、コミュニティ関連施設が 10.0%と多く、全体の約 80%を占め、続いて市営住宅等施設が 9.4%となっている。

施設用途別の築年状況を見ると、子育て支援施設と市営住宅等施設は、新耐震基準の施設が少なく、旧耐震基準の施設が多い。



その中で、勝浦市図書館は、建築年が昭和 39 年、木造・平屋建てで、特に施設の老朽化が進行している。

勝浦市図書館

項目	概要
建築年	昭和 39 年（平成 5 年改修）
構造	木造、2 階建て（図書館部分 1 階）
床面積	435.67 m ²
その他	蔵書 約 4 万冊、年間利用者 10,432 人/年



図書館利用のご案内

勝浦市にお住まいの方、通勤通学されている方なら、どなたでも本を借りることができます。

- 開館時間 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末・年始

みなさまのご利用をお待ちしております。



◇初めて本を借りる方へ

カウンターで登録をして貸出券を作ります。
※住所の分かるものをお持ちください

◇本の借り方

1人4冊まで2週間貸し出します。

◇予約・リクエストサービス

読みたい本が見あたらないときはお尋ねください。
貸し出し中の本も予約できます。
所蔵していない本は他の図書館から借りたり、購入したりして、できるだけご希望にお答えします。

◇レファレンスサービス

知りたいことの書いてある本がわからない時はおたずねください。
ただし、クイズの解答・法律相談などは受け付けできません。

◇コピーサービス

図書館の資料に限り、著作権法の範囲内で有料でコピーできます。

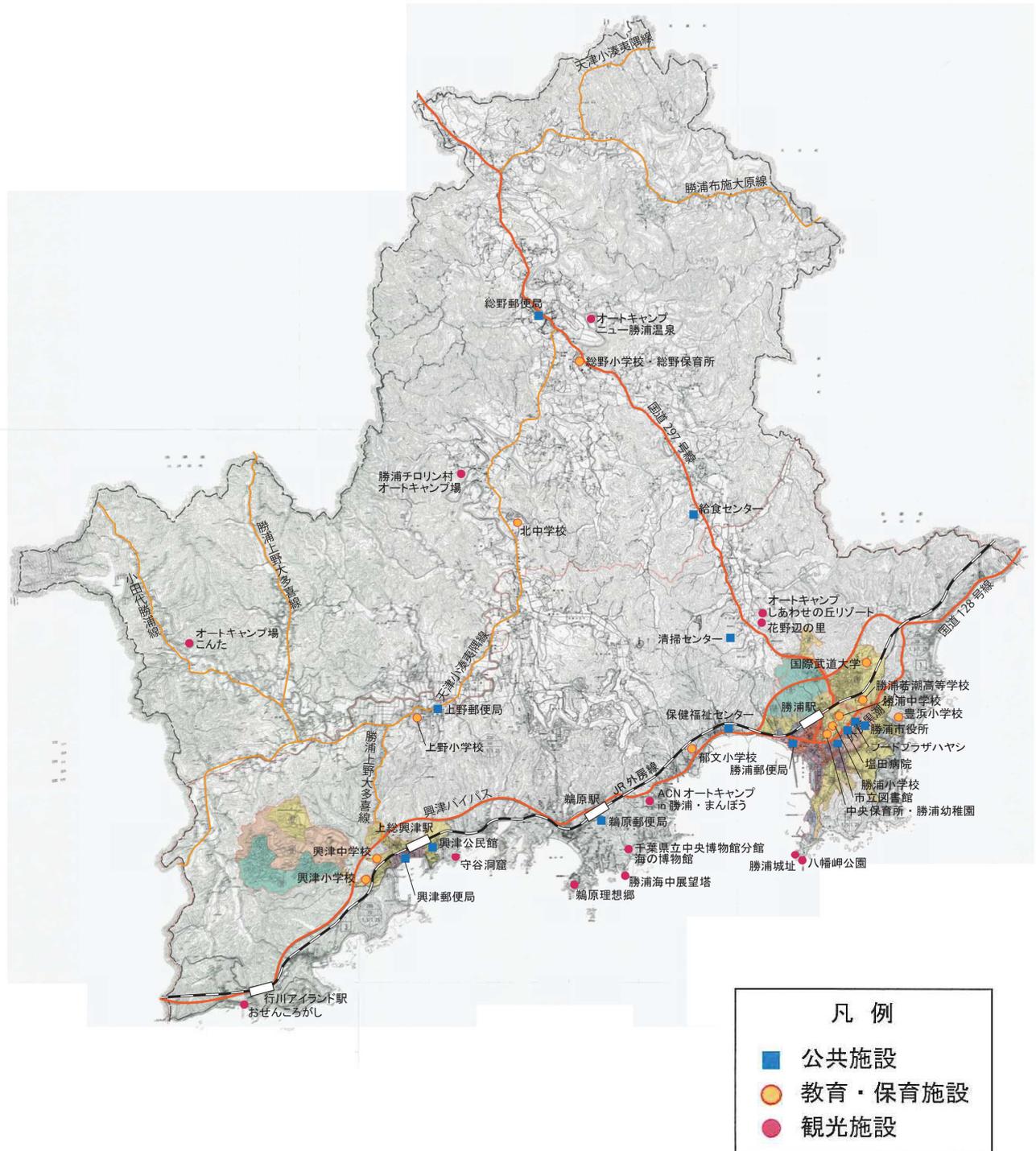
◇本の返し方

返却カウンターにお返しく下さい。
閉館後・休館日は玄関脇の返却ポストに入れてください。

◇絵本の読み聞かせ

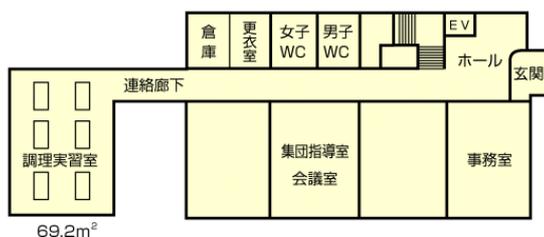
勝浦市子ども館 ども館内の図書室では、絵本の読み聞かせができますので、ご利用ください。

勝浦市の公共公益施設は、勝浦駅周辺に集積しており、跡地利用にあたっては立地特性を活かした利用が望まれる。また、公共公益施設のうち、勝浦市保健福祉センターは、勝浦市防災マップにおいて、津波浸水想定区域に位置しており、現在の施設は新耐震基準を満たしていない状況である。



保健福祉センター

項目	概要
建築年	昭和47年（平成9年改修）
構造	鉄筋コンクリート造、2階建て
床面積	712.72 m ²
その他	事務室、集団指導室・会議室、調理実習室、会議室、相談室等 年間利用者264件、延べ7,339人



施設の利用について

- 利用対象者** 勝浦市に居住する者で、保健及び福祉の目的で利用される社会福祉団体及び登録ボランティアを原則とします。
- 利用手続き** 利用する5日前までに、社会福祉協議会へ申請書により申し込んでください。
- 開館時間** 午前8時30分～午後5時
- 休館日** 毎週土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始
- 使用料** 無料

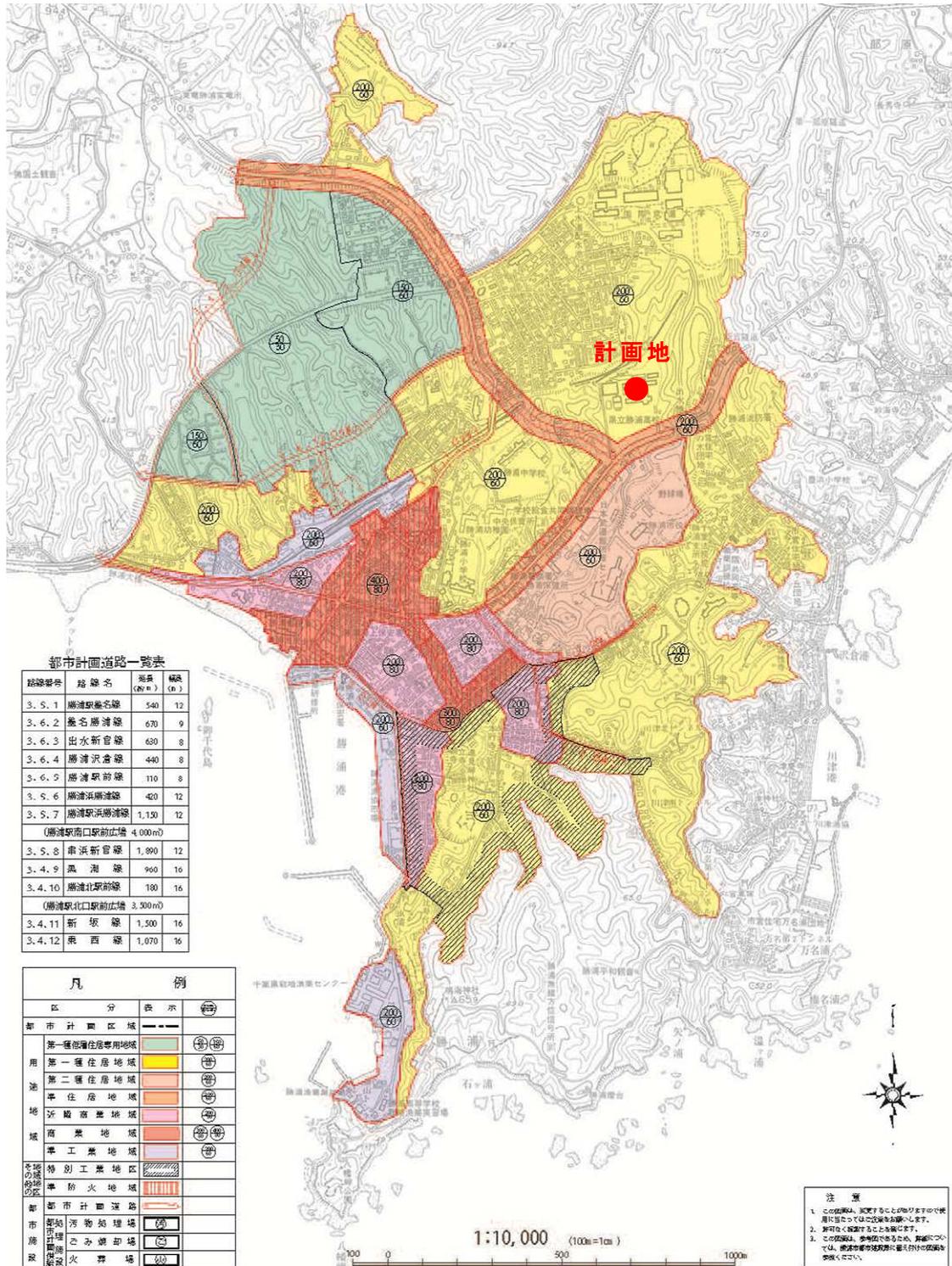
所在地・アクセス

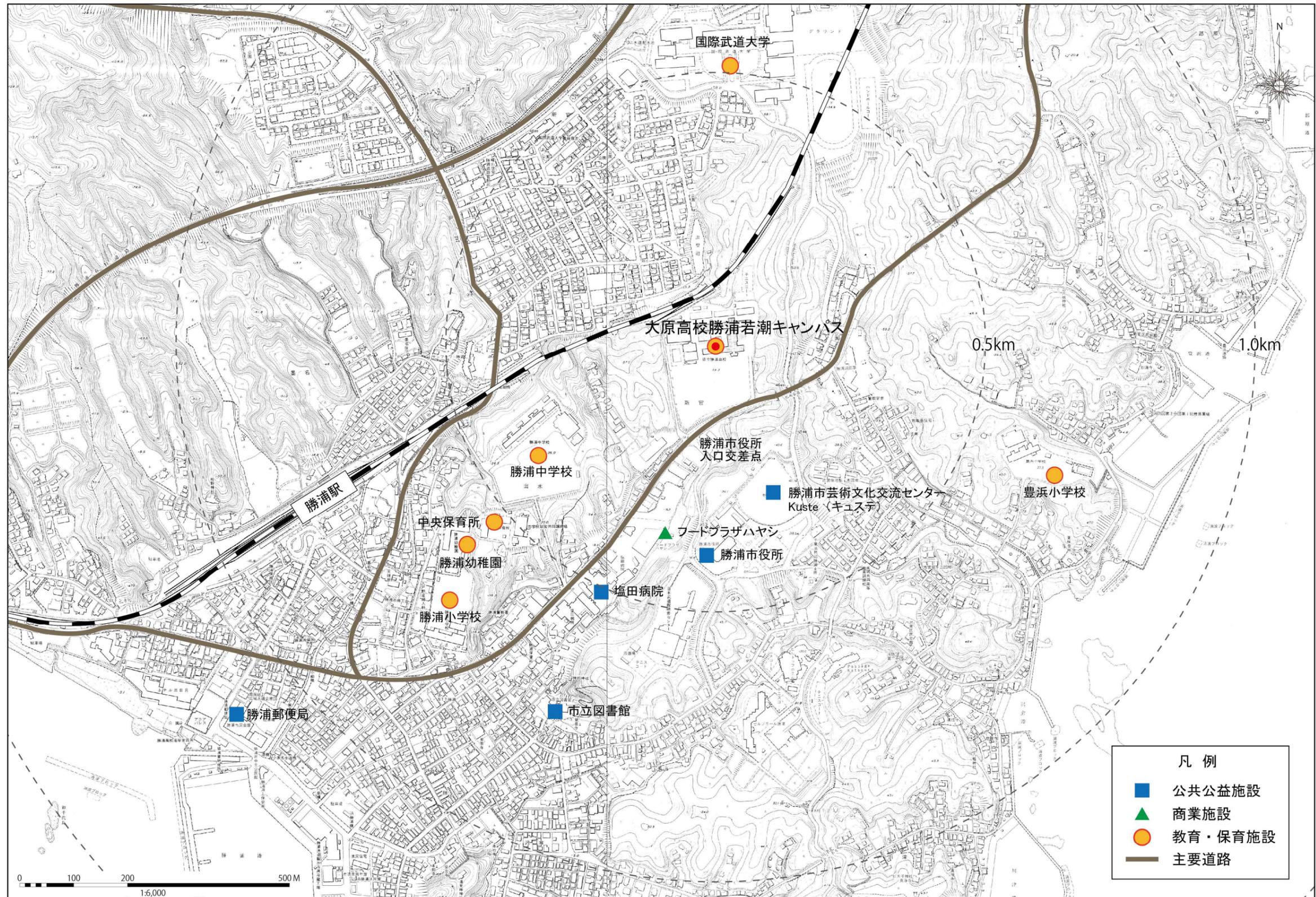
〒299-5226千葉県勝浦市串浜1191-1

☎0470-73-6101

④法規制の状況（都市計画）

法規制の状況を見ると、跡地は、都市計画法上、第一種住居地域に指定されている。





勝浦若潮高等学校周辺 現況図 S=1:6,000

(3) 上位関連計画

① 勝浦市総合計画（平成 24 年 3 月）

勝浦市総合計画は、時代の潮流やまちづくりの課題などを踏まえ、市民と行政がこれからの新しい時代の目標を共有し、信頼関係を構築しながら、魅力あるまちづくりを進めるための指針として、まちづくりの基本理念や将来都市像を掲げ、それを実現するための施策や事業を総合的かつ体系的に定めている。

【将来都市像】

海と緑と人がともに歩むまち “元気いっぱい かつうら”

【5つの基本方針】

- 1 地域の宝を活かしたにぎわいのあるまちづくり
- 2 支えあい安心して暮らせるまちづくり
- 3 自然と共生する安全なまちづくり
- 4 次代を担う人と文化を育むまちづくり
- 5 効率的な行財政と市民との協働によるまちづくり

【基本方針に基づく個別施策（抜粋）】

○産業連携による交流のまちづくりの推進

施策の方針として、豊富な農林産物・魚介類などの地域資源を活用した交流によるまちづくり、産業振興による雇用の場の創出などがある。

○保健・医療体制の充実

施策の方針として、健康診査や各種検診の受診率の向上及び保健指導による生活習慣の改善、生活習慣病の予防促進や健康に関する知識の普及など、市民の健康づくりを支える体制の充実を図る。

○子育て支援・児童福祉の充実

施策の方針として、保育環境・サービスの充実に努め、子どもが豊かな自然のなかで健康に伸び伸びと育つよう、家庭や地域が一体となって子育てに取り組むことができる体制づくりを推進する。

○高齢者福祉の充実

施策の方針として、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりを推進する。また、高齢者が生きがいをもって生き活きと暮らせるよう、生涯学習やスポーツ活動を支援する。

○地域福祉の充実

施策の方針として、高齢者や障害者など、社会的な支援を必要とする市民が、必要なサービスを必要なときに享受できるよう、各種福祉サービスの充実に努める。また、支援が必要な人をサポートできる地域ケア体制の整備を推進する。

○計画的な土地利用の推進

施策の方針として、快適で安全な居住環境と市の特性を活かした産業の活性化を実現できるよう計画的な土地利用を推進する。

○学校教育と青少年教育の充実

施策の方針として、地域の次代を担う人材育成を目指すことや、市民のスポーツ振興と健康づくりに向けて、学校体育施設の有効利用などがある。

○伝統文化の保存と芸術文化の振興

施策の方針として、指定の文化財の確実な保存と新たな文化財の発掘に努め、市民がそれらに親しみ、観光資源としての活用などがある。

○生涯スポーツの推進

施策の方針として、市民のスポーツ振興と健康づくりを推進するため、国際武道大学やスポーツ推進委員などと各種スポーツ団体との連携の強化や、スポーツ振興を支える人材の育成、市民のスポーツ活動の拠点となる市立学校の体育施設の整備を計画的に推進する。



② 勝浦市都市計画マスタープラン（平成 26 年 3 月）

本計画地は、地区別構想における地区区分で勝浦地区に位置し、将来都市構造のゾーン構成では「市街地ゾーン」、拠点形成では「勝浦都市交流拠点」に位置づけられている。

【全体構想】（抜粋）

土地利用に関する基本方針

- 交流人口の増加を地域経済の活性化に繋げるための方策の一つとして、都市・地域交流拠点において休憩・情報発信・地域の連携等の機能を有し地域の振興に資する施設（地域振興施設）を位置づけ整備推進を検討
- 人口減少・少子高齢化の進展に対応して、人々が快適に暮らし続けられる人にやさしい都市づくりのため、都市・地域交流拠点の育成（暮らしの広場としての商業地等の機能や子育て支援機能等の充実）と快適な居住環境の形成に向けた土地利用の誘導
- 安全・安心して暮らし続けられる災害に備えた都市づくりの一環として、既成市街地内及び周辺において地域防災拠点及び避難地としての公園・広場の整備

【地区別構想】（抜粋）

ア 勝浦地区の課題

- 勝浦中心商業地の活性化（商業の活性化）
- 魅力ある景観づくり・観光地づくりの推進
- 市街地環境・生活環境の改善
- J R 勝浦駅北側地区の活用

イ 勝浦地区のまちづくりの目標

- 都市の中心地区にふさわしい賑わいと魅力ある中心市街地、中心商業地の形成
- 地区の豊かな地域資源（自然資源・歴史資源等）を活かし、優れた景観の保全・育成・活用とネットワーク化による感動を与えられる地域づくりの展開
- 安全・便利で、快適な暮らしやすい市街地・集落環境の形成・向上

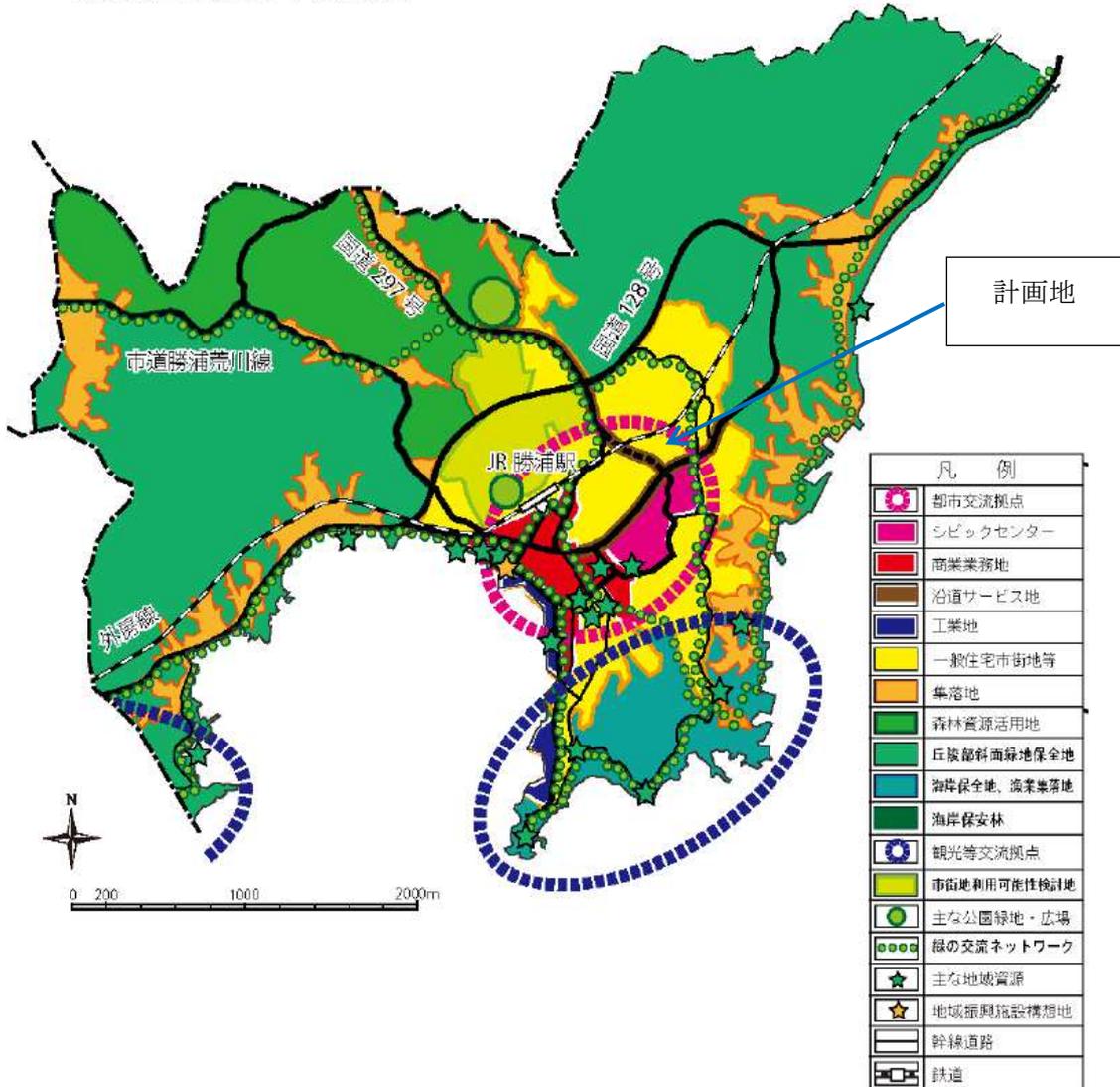
ウ 勝浦地区のまちづくり方針（抜粋）

- ・商業サービス機能や福祉機能等の一層の充実・強化
- ・高齢者等にとっても便利で集いやすく魅力的な市街地の形成
- ・交流人口の増加
- ・ブランド化した水産物等の「食」を提供する場 （地域振興施設等）
- ・若者の定住や子育てしやすい環境づくり

エ 都市づくりの推進方策（都市・まちづくりを先導する重点的な取り組み）

目標1：基幹産業の漁業と観光を中心とした産業連携により、産業全体が活性化する都市づくり	
部門	主要施策・プロジェクト名(◎:先導・牽引)
土地利用	◎ ・勝浦都市交流拠点における地域振興施設地の整備
	◎ ・勝浦中心商業地の快適で魅力的な環境づくり
	◎ ・農業基盤の整備と耕作放棄地の発生抑制による農地の保全と農業の振興
	○ ・総野地域交流拠点における地域振興施設地の整備
	○ ・森林の地域資源としての活用による産業の振興
交通体系	◎ ・国道297号松野バイパスの整備
	◎ ・都市計画道路3・4・11新坂線(国道297号～市道墨名部原線間)の整備
	○ ・都市計画道路3・5・7勝浦駅浜勝浦線(国道128号以南区間)の整備と浜勝浦川の蓋がけによる臨海プロムナードの形成

勝浦地区のまちづくり方針図



③ 勝浦市 まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年 10 月 29 日）

本計画では、次の基本目標と具体的な施策を位置づけており、基本目標 1 には、「産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保」が挙げられている。

○基本目標

- ・基本目標 1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
- ・基本目標 2 観光による交流人口の拡大、移住、定住の促進
- ・基本目標 3 子育て・教育環境の向上と充実
- ・基本目標 4 地域交流・地域振興の促進

○具体的な施策（具体的な取組は抜粋）

目標	施策	具体の施策
【基本目標 1】 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保	施策① 地場産業の育成支援	①-1 新規就農者への支援及び環境整備 ①-2 新規漁業者への支援及び環境整備 ①-3 地（知）の拠点大学による地方創生の推進
	施策② 地場産業の推進による地域のブランド化	②-1 農林水産物の高付加価値化とブランド化 ○農林水産物販売促進事業 ・ 勝浦産農林水産物の販売促進 ・講習会の開催等を行い、 農林水産物の 6 次産業化等の取組を推進 ○勝浦産ブランド 水産物 P R 推進事業 ・勝浦産水産物の P R として、無料配布等を行い、消費拡大を図る
	施策③ 企業誘致の強化・起業支援の強化	③-1 企業立地の促進 ○企業立地促進事業 ・ 地域経済の活性化と雇用の創出 を図るため、市内への立地希望企業へ相談窓口を設け、奨励措置・融資等の相談に応じる ・IT 関連の起業や サテライトオフィスの誘致 に力を入れる ③-2 中小企業の振興 ○中小企業資金融資事業・中小企業資金融資利子補給事業 ③-3 商店街の活性化 ③-4 起業者支援 ・起業者に対し相談や資金面での支援体制の充実を図り、開業率の上昇を促進 ③-5 就労支援

目標	施策	具体の施策
【基本目標2】 観光による交流人口の拡大、移住、定住の促進	施策① 観光産業の育成・支援	①-1 観光案内の環境整備 ①-2 イベント活動の充実と新たな観光資源の整備 ①-3 漁村・農村観光の促進 ・ 漁業体験、農業体験などのメニューの構築 ○ 体験交流イベント推進事業 ○観光マップ整備事業
	施策② 移住・定住の促進	②-1 U I J ターンの促進 ②-2 田舎暮らしの魅力発信 ○田舎暮らし体験事業 ・ お試し居住施設の貸し出し ②-3 若者定住の推進 ②-4 住環境の整備
【基本目標3】 子育て・教育環境の向上と充実	施策① 婚活・妊活・出産・子育て支援	①-1 婚活の支援 ①-2 子どもを産み、育てる支援（妊娠から就学前まで） ○妊娠・出産・子育て支援事業 ・保健指導、健康診査、子育て相談、訪問などを実施 ・マタニティクラスなどで 沐浴体験や交流会を実施し、仲間づくりの場を創出 ・ 男性の積極的な子育て参加を促進するため、セミナーなどを開催 ①-3 子どもを産み、育てる支援（就学から高校を卒業するまで） ○特色ある学校教育推進事業 ①-4 子どもを産み、育てる支援（出産から高校を卒業するまで） ○子どもまちづくり事業 ・ 地域ぐるみでの子育て意識の醸成や交流 が図れるよう、 フォーラム等を開催
	施策② 子育て支援施設及び学校の整備維持	②-1 子育て支援施設の整備 ・子育てに関する情報発信する地域子育て支援センターを併設した幼保連携型認定こども園を整備 ②-2 学校の整備
【基本目標4】 地域交流・地域振興の促進	施策① 地域づくりの支援	①-1 住民主導型地域づくり支援 ○住民参加による地域づくり支援事業 ①-2 国際武道大学との連携による健康増進 ・ 国際武道大学と連携し各種スポーツ教室等を開催 し市民の健康づくりを推進 ・健康増進に対して活動を行っている市民団体に対して支援 ①-3 広域連携の促進 ・ 友好都市協定 を結んでいる西東京市、勝浦ネットワークの徳島県勝浦町、和歌山県那智勝浦町と 産業や文化の交流を促進 ①-4 国際化の推進
	施策② 地域交流・地域振興施設の整備	②-1 地域交流の拠点、生活利便施設等の整備（小さな拠点） ○地域振興拠点整備事業 ・ 生活利便施設の整備を推進 ・ 地域住民の交流、生活利便性の向上、農業等の地域振興を推進 ②-2 公共交通の整備

(4) 市民意向（勝浦市人口ビジョン 勝浦市将来展望に関するアンケート調査結果）

勝浦市人口ビジョン策定時に実施された、勝浦市将来展望に関するアンケート調査結果は、次のとおりである。

表 アンケート調査概要

アンケート実施期間	平成27年6月1日（月）から平成27年6月15日（月）まで
アンケート対象者	①一般 勝浦市内住等者 1,884人（無作為抽出） ②転入 平成26年1月から12月までの転入者 500人（無作為抽出） ③転出 平成26年1月から12月までの転出者 500人（無作為抽出） ④転出 平成18・19年度勝浦市内中学校卒業生中市外転出者 116人

○ 一般住民調査結果

・住む場所について重視する点

「仕事」 37%

「交通の利便性」 34%

「買い物の利便性」 32%

・住む場所や住宅購入の契機となる行政サービス

「子育て世代への税制優遇や補助金」 44%

「医療費無料制度」 35%

「転入者に対する税制優遇や補助金」 29%

○ 卒業・転出者調査結果

・勝浦市が住みやすかった点

「自然環境が豊か」 78%

「生まれ育った土地」 65%

「安全安心な場所」 26%

・勝浦市が住みにくかった点

「交通の便が悪い」 89%

「仕事がない」 74%

「買い物をする店が少ない・遠い」 61%

・取り組むべき移住・定住支援策

「就職・求人情報の提供の充実」 57%

「出産や子育て等に対する各種支援の充実」 44%

「交通の利便性の充実」 35%

○ 転入調査結果

・勝浦市に決めた理由

「自然環境が豊か」	46%
「通勤・通学の利便性」	23%
「生まれた土地、以前住んでいた」	21%

・取り組むべき移住・定住支援策

「出産や子育て等に対する各種支援の充実」	35%
「交通の利便性の充実」	30%
「就職・求人情報の提供の充実」	28%

○ 転出調査結果

・勝浦市が住みやすかった点

「自然環境が豊か」	80%
「生まれ育った土地」	35%
「安全安心な場所」	25%

・勝浦市が住みにくかった点

「買い物をする店が少ない・遠い」	64%
「交通の便が悪い」	59%
「仕事がない」	35%

・取り組むべき移住・定住支援策

「出産や子育て等に対する各種支援の充実」	35%
「就職・求人情報の提供の充実」	27%
「転入者の住宅費用の一部を補助する制度」	26%